

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2003年放送分](#) > 5月3日放送分 [良いとこ取りの精鋭部隊～長野プリンターメーカーの取り組み～](#)

5月3日放送分 [良いとこ取りの精鋭部隊～長野プリンターメーカーの取り組み～](#)

5月3日 (TX・TVO・TSC)

4日 (TVA・TVH・TVQ・RCC・TVQ・OTV)

5日 (BSJ)

長野県の(株)スターマインド(資本金3,100万円、従業員25名)は、凹凸面でも印刷ができる特殊プリンタを主力製品としながらも、ソフトウェアや抗菌素材等、ニッチ分野で様々な製品を開発・製造している。あくまで自社ブランドにこだわる同社の小さくても世界に知られる存在感のある会社、オンリーワン企業となるための取り組みを紹介する。

良いとこ取りの精鋭部隊

～長野・プリンターメーカーの取り組み～

[視聴覚教材No. TV15-5](#)

[動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)



長野県塩尻市にやってきた志垣さん。なにやら手に持っているものを不思議そうに見ているが…

志垣さんがもっていたのは自分がプリントされたボール。表面がでこぼこしているゴルフボールにどうやって綺麗にプリントしたのか？今日の訪問先が開発したプリンターにその秘密があるという。



こちらは小澤社長。志垣さんが持っていた



ゴルフボールなど、どんなものにもプリントできる機械を開発した(株)スターマインドの創業者。

キャンパス地にプリントされた志垣さん。



ツルツルのアクリル版にプリントされた志垣さん。一体なぜどんなものにも印刷できるのか？その秘密を聞いてみる。

これが当社の開発したプリンター。表面がでこぼこでも印刷できる秘密は、インクジェット(インク吹き付け)方式のプリンターだからという。しかし、表面がツルツルしたものにインクジェットでプリントすると、インクがおちたり滲んだりしてしまう。そこで独自に開発した下処理剤を塗布することでどんなものにもインクを定着させることが可能となった。



ダンボールにプリントされた広告。小澤社



長は、ラッピング広告に代わるものとして、広告がプリントされたダンボールを車の側面に取り付ける方法を提案。ラッピング広告の10分の1のコストで広告ができるという。

なぜ、こんな機械を開発できたのかという質問をぶつけた志垣さんに、「うちには生産技術部隊、精鋭部隊がいます」と、小澤社長は答えた。それではと、その精鋭部隊にも話を聞くことに。



「自分の経験の上に他の人が持つ知識・技術をプラスして、新製品を考える」ことが開発のコツだと精鋭部隊はいう。

POINT: 積み重ねた経験にプラスα

POINT: 良いとこ取りで新製品



小澤社長も精鋭部隊と同じ考え。「良いところは、どんどん取り入れるべき。悪いところを探すより、良いところを見つける方が良い」と、小澤社長。

POINT: 良いところはマネをするべき



世界中の良い技術を応用して、新しいもの



を作り上げるのがマスターマインドの特徴。そのため、必要なのは専門知識よりも、なによりも「やる気」だと、小澤社長は語る。

POINT: やろうとする人がいればできる！



こちらは中田営業統括。生産、開発力には自信があるものの、営業力には不足を感じた小澤社長は、大手スーパーの一線で働いていた中田氏を会社に迎えて営業力を補強。



中田営業統括の営業戦略は、「同じ作業でも当社の製品を使うことで、新しくユニークなことができることと、当社の機械を使うことで生産効率があがること」の二つ。そして、小澤社長は「ウチはこれが作れるんだ！とアピールすることが大事」と、語った。

POINT: 少量生産で必要なだけユニークなものを！



[ひとつ上の階層へ](#)

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN